

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:山口県岩国市

1. 事業名	ワークライフバランス・女性活躍推進事業								
2. 実施期間	令和2年5月1日 ～ 令和3年3月30日								
3. 事業の趣旨・目的	市内事業所のワーク・ライフ・バランスへの取り組みや、広く市民への意識改革を通して、女性がより働きやすい環境で安心して仕事に取り組むことで、仕事に対するやりがいや、責任ある指導的な立場で活躍したい意欲を持つ女性を増やしていくことを目的とする。								
4. 事業内容	女性がより意欲的に仕事に取り組めるよう、女性全体の意識を上げていくため、女性活躍推進セミナーを実施した。また、ワーク・ライフ・ バランスに関する啓発については、前年度実施したアンケート結果を反映して、ワークライフ バランス・女性活躍推進アドバイザー派遣事業を実施し、また学生向けのワークライフバランスに関する講座も実施した。また、男性の育児・家事への積極的な参加を促すため、「オンラインによるパパと子のお片付け教室」を実施した。さらに、商工振興課との共催による「働きたいママの再就職応援セミナー」を実施した。								
5. 事業効果及び効果検証の概要	「女性活躍推進セミナー」は、現在仕事を持つ女性に直接働きかけることで、キャリアアップへの意欲喚起ができた。また、「オンラインによるパパと子のお片付け教室」では、男性の意識改革だけでなく、子供世代の意識づけにもつなげることができた。事業所へのアドバイザー派遣事業では、各事業所が今後やりべきことが具体化され、事業所内の意識の高まりがみられた。								
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	コロナ禍の影響で、事業所に対して直接働きかけることが難しく、オンラインやリーフレット配付での啓発となったが、ワークライフバランスに取り組む事業者数は、目標を上回ることができた。引き続き、ワークライフバランスの必要性を理解してもらった上で、具体的な取り組みにつながるよう啓発に努めたい。								
7. 今後の課題	コロナ禍の終わりが見えない間は、オンライン等による啓発が中心になってくと思われる。一般市民や事業所によっては、オンライン講座に対して抵抗を感じる人も多く、まずはその抵抗感をなくすことが必要と思われる。オンラインの使い方を学ぶ講座も行いながら、コロナ禍という時代の流れにも沿って、人を集めないで効果が得られる啓発の仕方についての調査研究が必要。								
8. 事業の実施体制	岩国市男女共同参画推進会議から、事業についての意見や助言をいただくとともに、会員への周知協力を依頼した。事業所へのアドバイザー派遣事業については、岩国市と「地方創生にかかる包括連携協定」を締結している㈱山口銀行及び㈱YMGZONEプランニングと共同開催した。また、セミナーの実施にあたっては、商工振興課と共催し、岩国公共職業安定所からは後援を受けた。								
9. 経費の内訳 (単位:円)									
事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付決定事業	総事業費(A=B+C+D)	本交付金(B)	他の寄付金等(C)	自己資金(D)	備 考
1	ワークライフバランス・女性活躍推進事業		2年度当初予算	2年度予算	1,937,264	968,000		969,264	
					0				
					0				
					0				
	合 計				1,937,264	968,000	0	969,264	
10. 担当者名及び連絡先		所属部署:岩国市総務部人権課男女共同参画室 電話番号:0827-29-5340							
11. 事業実施及び連携工程		様式4-2-1に記載							

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-2-2と整合性をとって記載してください。

注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)、(5)又は第4【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)から選択してください。

注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「元年度当初予算」、「元年度補正予算」、「2年度当初予算」のいずれかを記載してください。

注4)「9. 経費の内訳」の交付決定事業について、「元年度補正予算」、「2年度予算」のいずれかを記載してください。

注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。

注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。

事業実施及び連携工程表

市町村名: 山口県岩国市

1. 事業実施工程表

事業 番号	個別事業名	実施内容	事業目標(アウトプット・ アウトカム)	実施時期											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	ワークライフバランス・女性活躍推進事業	事業所や一般市民を対象に、ワークライフバランスの普及啓発を図る。	ワークライフバランスに取り組む市内事業所数100社				●7/22 ワークライフ バランス 出前講座	●8/9親子お片付け教室							●3/6 ZOOM使い方基礎講座
															●3/9・ 11・17 アドバイザー派遣事業

2. 連携工程表

事業 番号	事業・取組名 (実施主体)	事業・取組内容	交付金事業との連携内容	交付金事業との連携											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	女性・シニア新規就業促進事業 (岩国市商工振興課)	女性の就職を支援する。	セミナーを共同開催する。							●10/23 再就職準備セミナー	●11/5女性活躍推進セミナー				

※2. 連携工程表には、交付金事業と連携する同一団体内で行われる事業・取組(他の国の交付金等を利用する場合は明記)、他の連携主体(協議会を構成する民間団体等)や他の地方公共団体の事業・取組を記載してください。

※適宜、行を追加してください。

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分) 個別事業

市町村名: 山口県岩国市

事業番号	1
1. 個別事業名	ワークライフバランス・女性活躍推進事業
2. 実施期間	令和2年5月1日 ～ 令和3年3月30日
3. 総事業費	1, 937, 264円
4. 事業内容	女性がより意欲的に仕事に取り組めるよう、女性活躍推進セミナーを実施した。また、ワーク・ライフ・ バランスに関する啓発については、前年実施したアンケート結果を反映して、事業所に対してのワークライフバランス・女性活躍推進アドバイザー派遣事業を実施し、また、学生向けのワークライフバランスに関する講座も実施した。また、男性の育児・家事への積極的な参加を促すため、「オンラインによるパパと子のお片付け教室」を実施した。さらに、商工振興課との共催による「働きたいママの再就職応援セミナー」を実施した。 ・経済団体、関係団体など官民連携の考え方及び具体的な連携主体・連携方法 男女共同参画推進会議の構成員である商工会議所、工業クラブ、男女共同参画団体等へセミナーの参加依頼を行う。 また、本市は山口銀行、YMFGZONEプランニングと「地方創生に関する包括連携協定」を締結しており、ワークライフバランス・女性活躍推進アドバイザー派遣事業を共同実施した。 ・連携地方公共団体及び具体的な連携方法 山口県や周辺市町と情報交換を行い、セミナー開催の際は、参加案内を行った。 ・交付金事業間連携、他施策との連携 「岩国市まち・ひと・しごと創生総合戦略」での目標の1つとして「ワーク・ライフ・バランスの推進」を掲げており、政策企画課と進捗管理を行った。また、商工振興課とは、セミナーを共同開催した。
5. 事業効果及び効果検証の概要	「女性活躍推進セミナー」は、現在仕事を持つ女性に直接働きかけることで、キャリアアップへの意欲喚起ができた。また、「オンラインによるパパと子のお片付け教室」では、男性の意識改革だけでなく、子供世代の意識づけにもつながることができた。事業所へのアドバイザー派遣では、各事業所が今後やりべきことが具体化され、事業所内の意識の高まりがみられた。
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	コロナ禍の影響で、事業所に対して直接働きかけることが難しく、オンライン等での啓発となったが、ワークライフバランスに取り組む事業者数は、目標を上回ることができた。引き続き、ワークライフバランスの必要性を理解してもらった上で、具体的な取り組みにつながるよう啓発に努めたい。
7. 今後の課題	コロナ禍の終わりが見えない間は、オンライン等による啓発が中心になってくると思われる。一般市民や事業所によっては、オンライン講座に対して抵抗を感じる人も多く、まずはその抵抗感をなくすことも必要と思われる。オンラインの使い方を学ぶ講座を行いながら、コロナ禍という時代の流れにも沿って、人を集めないで効果が得られる啓発の仕方についても調査研究を行いたい。

注1)「3. 総事業費」の内容については、別途、単価、員数、日数等が分かる積算資料を添付してください。

注2) 本様式はA4で2枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。